

いつも口が開いている場合は  
口輪筋の働きが弱くなっています



口がいつもあいている  
口で呼吸している

### 悩んでいるお母さんは意外と多い!

口呼吸が疑われる子どもは、なんと30%以上もいると言われています。そのまま口呼吸を放置すると、口周りの発達を遅らせ、舌とのバランスも崩すため、顔や歯列にも影響を引き起こす可能性が高いといわれています。

早めに発見してお口のトレーニングを行うことで、**口腔機能改善**ができます。

### いつも口をぽかんと開いていると...

出っ歯

笑うと歯ぐき丸見え

歯並びガタガタ

風邪やアレルギー等  
いろいろな病気にかかりやすい

などなど  
いいことはひとつもありません。

良い口腔機能を  
育成する  
ことが大切です。

## リットレメーターMedicalってなに?

口周りの筋力を測定します。マウスピースを使って口周りのトレーニングもできる医療用器具です。

### リットレメーター Medical

仕様：ハード2.5kg / ソフト2.0kg

包装：本体1個 / マウスピース 大小各1個

マウスピース素材：ソフトエラストマー

\*本品を使用中に異常を感じたら、使用を中止してください。

一般医療機器

### 歯科用口唇筋力固定装置



リットレメーターMedical YouTube 検索



製造販売元  
有限会社オーラルアカデミー  
東京都中野区沼袋3-30-15

TEL 03-5380-2336 HP <https://oral-academy.com/>

口輪筋の引っ張り強さを測定



お子さんのおくち

ポカーンとあいていませんか?



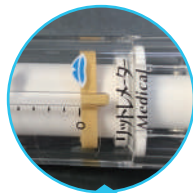
- くちが閉じていない
- くちで呼吸をしている

これらにあてはまったら、  
口腔機能の発達が低下している  
可能性があります。



## 使用方法は？

- 1 測定器の目盛りを0にします。  
必ず測定する前に指で目盛りを戻してください。



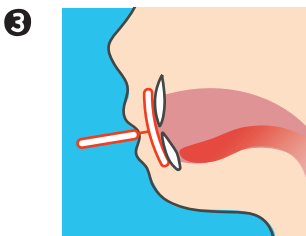
測定器本体

- 2 マウスピースを測定器に装着します。

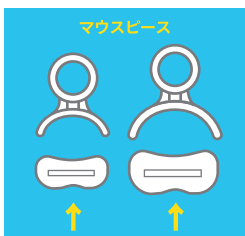


マウスピース

測定器 本体

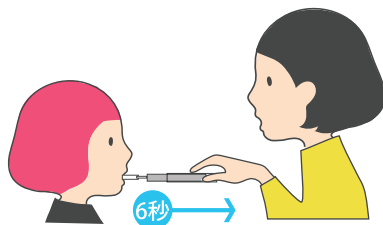


歯と唇の間にマウスピースをしっかりと装着します。

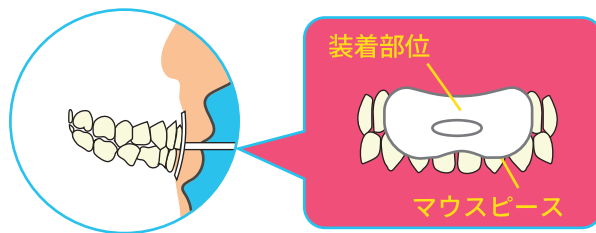


マウスピースのくぼんでいる方を下にして口に入れてください。

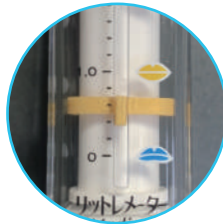
マウスピースを噛んで測定してしまわないように注意してください。



- 5 6秒くらいかけてゆっくりと測定器を引っ張ってください。このとき、くちびるの力だけでマウスピースを保持するようにしましょう。  
測定器を勢よく引っぱってしまうのは避けましょう。



- 6 口からマウスピースが引きだされそうになるところで口から外して、目盛りの数値を読み取ってください。  
目標は2.0kg前後で、1.4～1.6kg以上を目安にしてください。



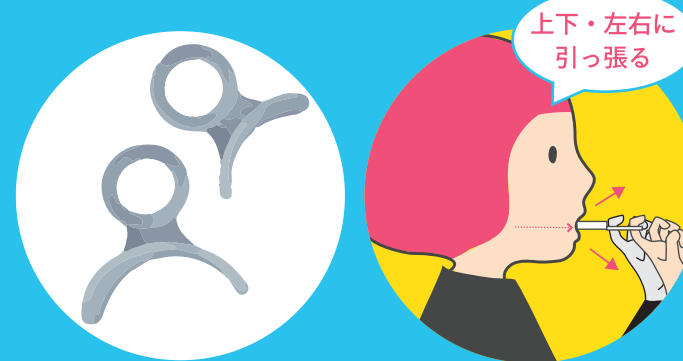
\*複数回(3回程度)測定していただき平均値を記録することをお勧めします。

## マウスピースのサイズはどれを選ばいいの？

測定のマウスピースは、毎回同じマウスピースを使用してください。測定には小サイズを使用してください。



## マウスピースの部分だけでトレーニングもできます



マウスピースは大小あり、啜えやすいまをトレーニングに使用します。前方、上下、左右や斜めにゆっくり各5回～10回ずつを目安に引っ張って、トレーニングをしてください。3分間のトレーニング、1日2回を目安に行うのがおすすめです。

## 保管方法は？



1  
マウスピースを外したらぬめりを取りながら流水で良くすすいで洗ってください



2  
水気をとり保管して下さい

